

平成21年度 事業計画

基本方針

- 1 長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。
- 2 県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。

1 スポーツ振興事業

目標：彩の国スポーツプラン 2010 に基づき、健康で明るく豊かな地域社会の実現を目指す。

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

埼玉県教育委員会及び埼玉県広域スポーツセンター（通称：ふあいぶる）と連携・協力し、総合型地域スポーツクラブの組織化を図る。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ育成委員会の開催。
- (2) クラブ育成アドバイザーの複数配置。
- (3) 未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動
- (4) 総合型地域スポーツクラブ育成支援チームの設置。
- (5) 創設支援クラブの研修会及び事務担当者会議の開催。
- (6) ふあいぶる運営協議会への支援と協力及び広域スポーツセンターとの連携。
- (7) 創設支援クラブ及び育成指定後のクラブに対する現地ヒアリング。
- (8) 先進総合型地域スポーツクラブの現状調査等。
- (9) 総合型地域スポーツ関連の日本体育協会開催会議、研修会への派遣。

2 生涯スポーツ地域振興助成事業の実施

二市町村以上の団体の交流を支援し、広域地区のスポーツ振興と地域文化の発展を図る。

3 郡市町村体育協会連絡会議の開催

「県民総スポーツと生涯スポーツ」の振興を図るために意見・情報交換を行い、あわせて関係機関、関係者との連携を強化する。

4 公認スポーツ指導者養成講習会の開催

日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会の開催（9月～）

実施競技：申請中（7競技） ソフトテニス・卓球・弓道・バドミントン・テニス
空手道・カヌー

5 埼玉県立武道館の指定管理及び活動支援

- (1) 株式会社サイオーと連携し、平成20年度から平成24年度までの5年間、埼玉県立武道館の指定管理を行なう。
- (2) 埼玉県立武道館が主催する事業等について協力・支援をする。

6 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会及び埼玉県駅伝競走大会の支援（9月・1月）

埼玉県が実施する伝統あるスポーツ大会の自転車道路競走大会と駅伝競走大会を支援する。

7 スポーツ活動の支援事業の充実

- (1) 免税募金事業を活用し、加盟団体（競技団体及び市町村体育協会）や総合型地域スポーツクラブ育成推進事業の育成指定クラブの自主財源の確保を図り、健全な運営を促す。（免税募金活動交付金）
- (2) 国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施。

8 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

- (1) 本会加盟団体運営補助事業
- (2) 学校体育団体等補助事業

9 大宮公園スポーツランド（飛行塔）の運営

10 公益財団法人認定に向けた諸準備

2 競技力向上事業

目標：彩の国まごころ国体で培ったノウハウを活かし、次代を担う彩の国アスリート並びに世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

1 第1期別強化訓練事業（4月～9月：冬季競技を除く）

県外への遠征試合（合宿）や県内で実施される全国・国際級の強化合宿等への合同合宿及び強化訓練を実施し、スポーツマンシップの下に、フェアプレー精神を発揮し「スポーツ埼玉」を代表するに相応しい選手の育成・強化を図る。

2 第2期別強化訓練事業（10月～3月：冬季競技を除く）

第64回国民体育大会本大会「トキめき新潟国体」で活躍のあった競技団体を中心に、第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」での連覇やより一層の活躍を図る。

3 スポーツ環境整備事業

- (1) 強化訓練施設が不足している冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活

動の場を確保し強化訓練を実施する。（冬季競技重点施策）

(2) 本会加盟競技団体の競技用器具機材等の整備。

4 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフ派遣補助事業

アンチ・ドーピング小委員会に登録されたスポーツドクターやトレーナーを派遣し、誤飲によるドーピングの防止及びスポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行う。

(2) 競技別支援スタッフの派遣

5 競技団体指定クラブ強化事業

優秀な成績を収めた選手を輩出しているクラブまたは今後期待されるクラブを通じた選手強化。（クラブは本協会で決定する）

6 ジュニア育成補助事業（事業選択制）

国民体育大会をはじめ国内外で活躍できる次代を担う有望選手を早期に発掘し県内定着を促し、世界に羽ばたく彩の国アスリートの育成を図る。

(1) ジュニアアスリートアカデミーの実施

(2) 指導者配置事業の実施

(3) 競技大会及び交流大会の開催（主催）

7 中・高体連育成強化事業の実施

中・高校一貫指導により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での活躍により、世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

8 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

9 関東ブロック大会及び国民体育大会埼玉県選手団の編成及び派遣

10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議（7月）

競技力向上に関する指導者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する研修を行うとともに、第64回国民体育大会本大会『トキめき新潟国体』での必勝体制の確立を図る。

11 競技団体長・支援企業等協議会（1月）

競技団体と支援企業を一堂に会し、本県のスポーツの振興とりわけ競技力の向上を図るために相互理解と協調・協力体制の確立を図る。

12 埼玉県スポーツ指導者研修会（2月）

(1) 公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進を

図るとともに、公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修を実施。

(2) 埼玉県スポーツ指導者協議会との連携し競技別義務研修の実施。

13 国際競技派遣事業

本県競技団体所属の選手が、日本を代表して国際大会に出場する際の経費について、定額補助により個人負担の軽減を図る。

3 スポーツ少年団事業

目標：スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、それらを育む指導者の養成と資質の向上を図る。

1 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催（12種目）

ア 個々のスポーツの特性（ルールや指導技術など）を学び、それらを習得する過程でマナー・モラルについて研鑽し次代を担う人づくりを行う。

イ 次代を担う人づくりのために、子どもたちを指導する大人たちの資質の向上を図る。

実施種目：サッカー・軟式野球・バスケットボール・バレーボール・剣道・ソフトボール・空手道・柔道・バドミントン・ソフトテニス・複合・駅伝

(2) 埼玉県スポーツ少年団大会（8月：名栗げんきプラザ）

野外活動を通じて、団員の相互の交流と親睦・協調と協力を図るとともに、次代を担うリーダーの育成を図る。

(3) 第28回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の開催（7月）

会 場 地：総合開会式 川越市 競技会：川越市他

実施競技：軟式野球・バレーボール（女子）・バスケットボール（男女）・バドミントン（選抜）・空手道

2 第35回日独スポーツ少年団同時交流事業（7月～8月）

(1) 派遣 期 日 7月20日（月）～8月11日（火）

場 所 ドイツ連邦共和国

派遣者 団員6名（指導者は茨城県（輪番制））

(2) 受入 期 日 7月25日（土）～8月4日（火）（1泊1日）

場 所 吉見町

3 指導者養成・研修事業

(1) 認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会

（県本部開催11月・市町村開催15コース補助）

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役 ♡

日本スポーツ少年団指導者制度に基づき、単位団活動の指導・運営にあたる指導者の養成。(検定合格者には日体協公認スポーツリーダーが付与される。)

(2) 認定育成員研修会(5月)

スポーツ少年団の牽引役である認定育成員の更なる資質の向上と活動体制の充実を図る。

(3) 認定員研修会(市町村14コース補助)

スポーツ少年団認定員指導者の資質の向上を図る。

(4) 母集団研修会(市町村25コース補助)

少年団の育成とその活動の充実を図るために母集団の結成と活動を促進する。

(5) 公認体力テスト判定員養成講習会(8月)

団員の体力を把握し、スポーツ活動・団活動の指導や日常生活に生かすため判定員を養成する。

(6) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修(1月)

県内スポーツ少年団指導者の参加を求め、種目別大会の今後の運営方法について協議するとともに、相互の情報交換と情報提供を行う。

(7) 研究大会等派遣

ア スポーツ少年団指導者全国研究大会派遣(6月:東京都)

イ ジュニアスポーツの育成と安全・安心フォーラム(2月:未定)

ウ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣(11月:山梨県)

4 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣(8月)

日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、ジュニア・リーダー修了者を対象に単位団及びリーダー会において模範となって活動する団員を育てる。

(2) ジュニア・リーダースクールの開講(8月・12月)

ア 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てる。

イ 小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

(ジュニア・リーダースクール補助事業:市町村10コース)

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣(10月:東京都)

都道府県におけるリーダー会及びリーダー活動の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会派遣(11月:東京都)

都県の市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成

5 地域交流補助事業(市町村80コース)

スポーツ少年団活動の活性化と地域交流の促進を図るため、2市町村のスポーツ少年団以上で実施

6 国内交流大会派遣事業

- (1) 全国スポーツ少年団大会（リーダーズアクション2009）（8月：群馬県）
- (2) 関東ブロックスポーツ少年大会（8月：山梨県）
- (3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会（8月：北海道）
- (4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会（3月：徳島県）
- (5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会（3月：広島県）
- (6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（7月：埼玉県）
実施競技：軟式野球・バレーボール（女子）・バスケットボール（男女）・
バドミントン（選抜）・空手道

4 スポーツ科学研究事業

目標：スポーツを医学的・科学的・コーチングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進を図る。

1 アンチ・ドーピング教育啓発事業

高等学校総合体育大会及び国民体育大会結団式並びに国民体育大会選手選考会議・各種研修会等でのアンチ・ドーピング教育啓発研修の実施。

2 国体選手の健康管理事業

- (1) 体力測定及びメディカルチェックの実施（体操・アーチェリー・バスケットボール）
- (2) 心理・栄養サポート事業の実施
- (3) 国民体育大会埼玉県選手候補の間診票によるメディカルチェックの実施

3 国民体育大会帯同ドクター派遣

- (1) 大会期間中の埼玉県選手団のドーピング関連の相談や傷病等の応急処置を施す。
- (2) 顧問医制度・トレーナー小委員会の医学サポートスタッフ派遣（国民体育大会競技別チームドクター・トレーナー）【競技力：支援スタッフサポート事業】

4 研修会・講習会の開催

- (1) トレーナー研修会の開催
- (2) コーチングセミナーの開催
単一競技に絞り、日本国内でトップレベルの指導者を招き、講演・実技・ディスカッション等を行う。
- (3) シンポジウム及びパネルディスカッションの開催
2月に行われるスポーツ指導者研修会にその時々話題性のあるテーマに沿ったプログラムの提供。
- (4) VICTORY SUMMIT（ヴィクトリー・サミット）の開催
競技者の競技力向上のために、スポーツドクター・科学者・競技指導者の3つの分

野が一堂に会して研究協議や意見・情報の交換を行う。

5 免税募金活動の充実

目標：自己財源を確保し、健全な運営を目指す。

- 1 本会への免税募金（寄付金）活動の推進。
- 2 加盟団体（競技団体及び市町村体育協会）や総合型地域スポーツクラブ育成指定クラブを指定した寄付金に免税募金事業を活用してスポーツ団体の活性化を図る。

6 スポーツ振興くじ助成事業

平成21年度は応募しない

7 広報・普及活動事業

- 1 「スポーツ埼玉」誌の発刊（年1回：県内スポーツ関係機関等に配布）
- 2 ホームページの改善
- 3 キャッチフレーズの活用
- 4 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たちの」発刊（年3回：全登録団へ配付）

8 顕彰事業

- 1 埼玉県体育賞（3月）
 - （1） 功労者表彰
長年にわたり体育・スポーツの振興や指導に精励し、著しい功績や他の模範となった者等を表彰する。
 - （2） 優秀選手賞
国際大会及全国大会で優勝等優秀な成績を収めた団体又は個人を表彰し栄誉を称える。
 - （3） 栄光賞
当該年度内において、特に傑出した競技成績・成果を収めた団体又は個人を表彰し栄誉を称える。
- 2 財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰（3月）
スポーツ全般において優秀な成績を収めた生徒や、敬愛を受け真に他の生徒の模範と

なる生徒を表彰する。

3 第64回国民体育大会表彰式（11月）

第64回国民体育大会において優秀な成績を収めた団体・個人を表彰し栄誉を称える。

4 埼玉県スポーツ少年団表彰（12月）

スポーツ少年団において永年活動してきた指導者を表彰し、今後より一層の活動を促し、スポーツ少年団発展に寄与する。

9 諸会議

1 理事会 年4回（5月・9月・12月・3月）

2 評議員会 年2回（5月・3月）

3 郡市町村連絡会議 年1回（6月：県内東西南北各1会場（計4会場））

4 専門員会

(1) 総務委員会 年3回（9月・12月・3月）

(2) 広報委員会 年1回

(3) 普及委員会 年1回

(4) 競技力向上関係

ア 強化対策委員会 年3回（5月・8月・1月）

イ 強化対策常任委員会 年3回（4月・8月・12月）

ウ 競技団体合同説明会 年1回（5月）

エ 国民体育大会候補選手等強化特別委員会 年1回（6月）

オ 第64回国民体育大会埼玉県選手団選考・監督会議 年1回（8月）

カ 第65回国民体育大会競技別強化対策会議（11月：3日間）

(5) スポーツ少年団関係

ア 本部員会 年5回（5月・7月・10月・12月・3月）

イ 代議員会 年1回（6月）

ウ ブロック本部長会議 年4回（県内4地区各1回：11月～12月）

エ スポーツ少年団5専門委員会（育成広報委員会・事業委員会・指導者委員会
リーダー育成委員会・指導者協議会）及び種目別担当者会議

オ 市町村スポーツ少年団事務担当者会議 年1回（3月）

カ 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会及び埼玉県スポーツ少年団県大会
並びにジュニアリーダースクールスタッフ会議

(6) スポーツ科学委員会関係

ア スポーツ科学委員会 2回（6月・3月）

イ スポーツ科学専門部会（科学4回・医学4回・コーチング4回）